

進学された皆さんに

植村 泰忠 (学部長)

今春理学部に進学された諸君に対し、理学部を代表して心から歓迎の意を表します。

御承知のように、理学部は、それぞれに長い歴史と伝統をもった多くの専門教室から成り立っています。本郷での諸君の学生生活は、これからその教室を主要な場として展開されることになるでしょう。教職員、大学院生とともに学部学生もまた、各教室における学問研究の活発な雰囲気を形成するのに大切な役割りを担っています。若い生命力と、みずみずしい個性のさらなる伸長とをもって、皆さんがこの役割りを積極的に担われることを期待する次第です。

進学に当って、私から次の二つのフレーズを諸君に進呈したいと思います。その一つは“自分の個性を大切にせよ、他人のことを気にするな”であり、他の一つはこれと一見相反するかにみえる“他人の立場に立っても考えてみよ”であります。

自然科学に限らず、およそ学問研究の営みは、もとをただせば個人の創造的な知性と対象との微妙なかかわりあい由来するものであって、その際、頼りになるのは結局のところ自分のみであります。学部学生の時代は研究活動の基礎的準備の段階であって、諸君は多くのものを（ときには余りに多くのものを）師友から与えられ、又学びとらねばならぬことでしょう。研究における孤独のきびしさからは未だ遠い感じがするかもしれませんが、修練期には、それなりの迷いや惑いが起こることも多いに違いありません。その場合、どうか自分のペース、自分の流儀をしっかりと護ってほしいと思います。周囲の人のペースに巻き込まれ、個性のみずみずしさを失うことのないように気をつけて下さい。“他人のことを気にするな”とはこのことを指しています。

理学部には、研究教育活動をささえるために多くの人が、さまざまな立場で働いています。諸君がうける勉学上のいろいろな便宜は、これらの人々の努力にいかにも多く依存しているかを忘れないでほしいと思います。ちょっとした手続きを怠ったり、その期限をまもらなかったりすることが、事務の担当者になんか余分な手間をかけることになるかは、おそらく諸君の想像以上のものであることなどはその一例であります。冬の朝、教室にスチーム暖房が働いているときには、授業開始に先立って早朝からその任を担っている人のあることも、ときには想って下さい。“他人の立場にも立って考えてみよ”とは以上のような意味であります。

どうか日々健康で、元気にやがて卒業の日を迎えられるよう祈ります。